

APRSAF-21 サイドイベント

日本で・アジアでつながろう： 宇宙航空分野の女性の活躍推進に向けて

日時：2014年12月3日(水) 10:20～12:30

総合司会：宇宙航空研究開発機構(JAXA)男女共同参画アドバイザー、
国際女性技術者・科学者ネットワーク(INEWS)
Japan会長 菅原香代子

[プログラム]

| 予定時間 | 演題／講演者 |
|-------------|---|
| 10:20～10:40 | [開会挨拶] 宇宙航空研究開発機構(JAXA)副理事長 樋口清司 [来賓挨拶] 内閣府男女共同参画局審議官 華房実保 文部科学省研究開発局審議官 磯谷桂介 外務省総合外交政策局女性参画推進室首席事務官 伊藤錬 |
| 10:40～10:55 | 「JAXAの男女共同参画の取組と女性の輝く社会づくり」 JAXA男女共同参画推進室長 塩満典子 |
| 10:55～11:00 | 「男女共同参画推進ネットワーク構築に向けて」 JAXA男女共同参画推進室 (法務・コンプライアンス課長) 内富素子 |
| 11:00～11:20 | 「宇宙航空技術を活用した地球規模課題の解決と女性の活躍への期待」 科学技術振興機構(JST)地球規模課題対応 国際協力プログラム研究主幹、東京大学名誉教授 安岡善文 |
| 11:20～11:50 | 「アジア太平洋地域における取組」 (モンゴル国及び米国) 駐日モンゴル国大使館 次席・公使参事官 エルデネツオグト・サラントゴス 米国国立科学財団(NSF) 東京事務所長 ケリーナ・クレーグヘンダーソン |
| 11:50～12:20 | [応援メッセージ] 宇宙飛行士 山崎直子 国際宇宙法学会長 ターニャ マーソン・ツバーン 日本ロケット協会会長 浅田正一郎 |
| 12:20～12:30 | [閉会挨拶] 日本電気株式会社(NEC)コーポレートコミュニケーション部長代理 兼 CSR・社会貢献室長 藤井浩美 |

[主催] 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 男女共同参画推進室

[会場] 東京国際交流館 プラザ平成 メディアホール

ご連絡先：JAXA男女共同参画推進室 (KYODO-DANJO-JIMUKYOKU@jaxa.jp)



講演者紹介

安岡 善文
情報・システム研究機構 監事、
科学技術振興機構 SATREPS研究主幹



東京大学工学部計数工学科、東京大学大学院博士課程修了(計数工学専攻、工学博士)。
環境庁国立公害研究所(現国立環境研究所)入所後、環境情報部総合解析部、地球環境研究センター総括研究管理官、東京大学生産技術研究所教授、(独)国立環境研究所理事、東京大学名誉教授、科学技術振興機構SATREPS研究主幹および情報・システム研究機構監事。日本リモートセンシング学会、日本写真測量学会、計測自動制御学会、環境科学会、米国電気電子学会(IEEE)等の会員。日本リモートセンシング学会会長等を経て、現在は横断基幹科学技術連合副会長を務める。

エルデネツォグト・サラントゴス
次席・公使参事官、駐日モンゴル国大使館



1997年 モンゴル国民大学国際関係学部
国際関係修士号取得
2002年 早稲田大学アジア太平洋研究科
国際関係修士号取得
2010年 オーストラリア・アデレード大学国際経済学修士号取得
職歴
1997-2000 日本担当官、外務省アジア局
2002-2004 三等書記官/北東アジア地域担当、外務省政策局
2004-2007 三等書記官、駐日モンゴル大使館
2007-2009 二等書記官兼日本担当官、外務省アジア局
2010-2012 一等書記官/北東アジア地域担当 外務省政策企画局
2012-2014.6 駐日モンゴル国大使館 経済参事官

ケリーナ・クレーグヘンダーソン
米国国立科学財団(NSF) 東京事務所長



ケリーナ・クレーグヘンダーソン博士は、コネティカット州ウェスリアン大学を卒業後、シカゴ大学で文学修士、及びルイジアナ州ニューオーリンズのチューレーン大学にて心理学修士及び博士号を取得。その後イリノイ大学アーバナシャンペーン校で教鞭につく。
さらに、カリフォルニア州立大学心理学部で教鞭をとった後、ハワード大学で教授に昇格。その後、NSFに移り、2013年末より東京事務所に赴任。クレーグヘンダーソン博士は過小評価されている人々が幅広く様々なことに参画することに強い関心を持ち、国の内外を問わず、この問題に関する活動に関わっている。

山崎直子宇宙飛行士



1999年 国際宇宙ステーション(ISS)
の宇宙飛行士候補者に選ばれ、
2001年 認定
2004年 ソユーズ宇宙船運航技術者
2006年 スペースシャトル搭乗運用技術者の
資格を取得
2010年4月 スペースシャトル・ディスカバリー号で
宇宙へISS組立補給ミッションSTS-131に従事した
2011年8月 JAXA退職
内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(YAC)アドバイザー、松戸市民会館名誉館長などを務める。著書に「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつなぐ」(角川書店)、「瑠璃色の星」(世界文化社)など。

浅田 正 一 郎
三菱重工業(株) 執行役員・フェロー
防衛・宇宙ドメイン 技師長



1978年3月 京都大学工学部航空宇宙工学科卒業
1980年3月 東京大学大学院工学系研究科
航空学専攻修士課程修了
1981年4月 三菱重工業(株)入社
1981年4月～1989年9月(名古屋) N-1、N-2、H-1、H-2ロケットの構造設計開発、振動解析、熱解析、分離解析
1989年～2001年3月(名古屋) 宇宙往還機(HOPE)のシステム設計、実験機のプロジェクトマネージャ
2001年4月～2002年12月(名古屋) H-IIA204開発プロジェクトマネージャ
2003年1月～2007年7月(名古屋) H-IIA民営化、H-IIA打上げ輸送サービス・プロジェクトマネージャ
2007年7月～2011年3月(東京) 航空宇宙事業本部 宇宙機器部長
2011年4月～2013年9月(名古屋) 航空宇宙事業本部 宇宙事業部長
2013年9月～2014年3月(名古屋) 防衛・宇宙ドメイン 宇宙事業部長
2014年4月～(東京) 現職2014年6月～ 日本ロケット協会会長

ターニャ・マーズン・ツバーン
国際宇宙法学会会長
ライデン大学航空宇宙法研究所准教授



1990-2007 国際宇宙法学会(IISL)事務局長
2004-2012 ハーグ・アダストラ・コンサルティング・
マネジング・ディレクター
2007-2008 オランダ航空大学(NAA)マネジング・ディレクター
2007-現在 国際宇宙法学会(IISL)会長
2008-現在 ライデン大学(IIASL)航空宇宙法研究所副所長、准教授

内富素子
宇宙航空研究開発機構(JAXA)
総務部法務・コンプライアンス課長



1994年東京大学法学部卒業後、
旧宇宙開発事業団入社
企画室、外務省出向、オランダ・ライデン大学
留学(国際法修士)、宇宙環境利用推進部、
産学官連携部、国際部を経て、現職。
男女共同参画推進室(兼務)では、ネットワーク
を担当。東京大学非常勤講師、慶応大学非常勤講師、中小企業診断士。一男一女の母。

塩満典子
宇宙航空研究開発機構(JAXA)
男女共同参画推進室長、新事業促進センター参事



1984年 東京大学理学部卒、科学技術庁入庁
1990年 ハーバード・ケネディ行政大学院修士課程修了
(公共政策学修士)

放射線医学総合研究所総括研究企画官、科学技術振興事業団国際室調査役、文部科学省宇宙政策課調査国際室長、奈良先端科学技術大学院大学教授、内閣府男女共同参画局調査課長・参事官、お茶の水女子大学教授・学長特別補佐、科学技術振興機構(JST)科学技術システム改革事業推進室長、JAXA調査国際部参事等を経て2013年10月より男女共同参画推進室長。2007年 日本女性科学者の会功労賞受賞。著書「研究資金獲得法」(丸善)。

